

第 14 章 準備書に記載した事項から変更した内容

準備書に記載した事項から変更した内容は、表 14-1(1)～(8)に示すとおりである。

表 14-1(1) 準備書に記載した事項から変更した内容

準備書の頁	評価書の頁	変更箇所等	変更事項等	変更の内容等
1.1-1	1.1-1	(1)その他の土地の造成	1)対象事業の規模	事業計画の熟度が高まり、土地利用計画を見直し、一部追加・削除するとともに、面積精査により約31.9ha→約31.8haに変更した。
1.1-1	1.1-1	(2)土地区画整理事業	1)都市計画対象事業の規模	事業計画の熟度が高まり、土地利用計画を見直し、一部追加・削除するとともに、面積精査により約24.1ha→約23.4haに変更した。
1.2-2	1.2-2	表 1.2-1	表題と内容	表題の準備書を評価書に変更した。内容について評価書作成までの手続きを追加した。これに伴い、本文も修正した。
1.4-1	1.4-1	1.4 事業の概要 1.4.1 事業計画 (1)事業実施区域	本文と図 1.4-1	事業計画の熟度が高まり、土地利用計画を見直し、一部追加・削除するとともに、面積精査により本文中の約 56.0ha を約 55.2ha に、図 1.4-1 の事業実施区域を変更した。これに伴い、以降の図の事業実施区域を変更した。
1.4-6	1.4-6	図 1.4-3	土地利用計画	事業計画の熟度が高まり、土地利用計画を見直し、一部追加・削除するとともに、位置を変更した。 以降の図についても同様に変更した。
1.4-7	1.4-7	表 1.4-3	面積数値の変更	事業計画の熟度が高まり、土地利用計画を見直し、環境影響評価の前提となるべき土地利用を示すため、面積精査により面積の内訳、比率を変更した。
1.4-12	1.4-12	表 1.4-7	公園面積の変更	事業計画の熟度が高まり、土地利用計画を見直し、面積精査により街区公園④を約 0.4ha→約 0.3ha、貝塚公園を約 3.3ha→約 3.4ha に変更した。
1.4-14	1.4-14	(6)処理施設計画 1)雨水排水	本文	わかりやすくするため追加・修正した。
1.4-15	1.4-15	図 1.4-8	経路の追加	不足していた経路があったため、東部遮集幹線を追加した。また、「箱崎ポンプ場へ」を追記した。
1.4-16	1.4-16	(7)緑化計画 1)公園植栽計画	本文	事業計画の熟度が高まり、土地利用計画を見直し、面積精査により貝塚公園を約 3.3ha→約 3.4ha に街区公園を約 0.7ha→約 0.6ha に変更した。
1.4-31	1.4-31	(4)造成計画	本文	わかりやすくするため修正した。
1.4-31	1.4-31	表 1.4-11	項目の追記と注釈の追加	わかりやすくするため追記した。 審査会委員の意見を踏まえ注釈を追加した。
1.4-31	1.4-31	(5)工事中の雨水排水計画	本文の修正	わかりやすくするため修正した。

表 14-1(2) 準備書に記載した事項から変更した内容

準備書の頁	評価書の頁	変更箇所等	変更事項等	変更の内容等
—	2.2-61 ~63	2.2.5 動物、植物、生態系の状況	項目の追加	住民意見を踏まえ、(4)特定外来生物の状況として、既存情報を整理し追加記載した。 以降、項目の番号、図表番号を変更した。
—	2.3-12	2.3.3 社会資本整備等の状況	項目の追加	住民意見を踏まえ、(3)航空交通の状況として、既存情報を整理し追加記載した。 以降、項目の番号、図表番号を変更した。
8.1-107	8.1-107	表 8.1-44	工事の実施(資材等運搬車両の走行)による影響に対する環境保全措置の実施内容	環境保全措置の実施内容を図書全体で統一するため、記載内容を修正した。
8.1-108	8.1-108	表 8.1-45	工事の実施(造成工事の実施)による影響(粉じん等)に対する環境保全措置の実施内容	環境保全措置の実施内容を図書全体で統一するため、記載内容を修正した。
8.1-115	8.1-115	表 8.1-51	存在・供用(施設関連車両の走行)による影響に対する環境保全措置の実施内容	環境保全措置の実施内容を図書全体で統一するため、記載内容を修正した。
8.2-6	8.2-6 ~ 7	2) 現地調査 a) 一般環境騒音	一般環境騒音の現地調査結果	住民意見を踏まえ、航空機騒音を除外した調査結果と航空機騒音を含む調査結果を併記した。
8.2-7	8.2-8	b) 自動車騒音	自動車騒音の現地調査結果	住民意見を踏まえ、航空機騒音を除外した調査結果と航空機騒音を含む調査結果を併記した。
8.2-40	8.2-41 ~42	6) 予測結果	工事の実施(資材等運搬車両の走行)による予測結果	住民意見を踏まえ、航空機騒音を含む調査結果を現況等価騒音レベルとした場合の予測結果を追加した。
8.2-43	8.2-45	6) 予測結果	存在・供用(施設関連車両の走行)による予測結果	住民意見を踏まえ、航空機騒音を含む調査結果を現況等価騒音レベルとした場合の予測結果を追加した。
8.2-44	8.2-46	表 8.2-16	工事の実施(造成工事の実施)による影響に対する環境保全措置の実施内容	環境保全措置の実施内容を図書全体で統一するため、記載内容を修正した。
8.2-45	8.2-47	表 8.2-17	工事の実施(資材等運搬車両の走行)による影響に対する環境保全措置の実施内容	環境保全措置の実施内容を図書全体で統一するため、記載内容を修正した。
8.2-47	8.2-49	1) 事後調査の必要性 2) 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応	工事の実施(資材等運搬車両の走行)に関する事後調査	市長意見を踏まえ、事後調査を実施することとし、事後調査内容等を追加した。
8.2-47	8.2-50	1) 事後調査の必要性 2) 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応	存在・供用(施設関連車両の走行)に関する事後調査	市長意見を踏まえ、事後調査を実施することとし、事後調査内容等を追加した。

表 14-1(3) 準備書に記載した事項から変更した内容

準備書の頁	評価書の頁	変更箇所等	変更事項等	変更の内容等
8.3-27	8.3-27	表 8.3-16	工事の実施(資材等運搬車両の走行)による影響に対する環境保全措置の実施内容	環境保全措置の実施内容を図書全体で統一するため、記載内容を修正した。
8.4-12	8.4-12	8.4.2 予測 (1)工事の実施(造成工事の実施)による影響	降雨時に事業実施区域内より発生する雨水について	市長意見を踏まえ、工区別に公共用水域までの排水経路を明示した。 工事中の雨水の処理経路をについて、仮設沈砂池で土粒子を十分に沈殿させた後、その上澄み水を公共下水道に排除することを明記した。
8.4-29	8.4-14	8.4.2 予測 (1)4)予測の前提条件	予測の前提条件	審査会委員の意見を踏まえ、環境保全措置の効果を分かりやすくするため、保全措置なしの条件での予測計算を追加した。 坂本町ポンプ場の区域は 600mg/L、菅松第3ポンプ場の区域は、2,000mg/L と設定した。
8.4-37	8.4-37	環境保全措置	環境保全措置後の流入負荷量	坂本町ポンプ場及び菅松第3ポンプ場からの放流濃度を 100mg/L と設定した。
8.4-35	8.4-38,39	b)浮遊物質(SS)予測結果	予測結果	環境保全措置後の予測結果を 8.4-38,39 に記載した。
8.4-39	8.4-41	8.4.5 評価	基準又は目標との整合性に係る評価	表 8.4-24 を削除し、河川汽水域の環境に与える影響の低減を目標とした。
8.9-107	8.9-107	④水象	水象の調査結果の説明文	左記事項についてわかりやすくするため説明文を追加した。
8.9-110	8.9-110, 111	⑤干潟地形	干潟地形の調査結果の説明文	審査会委員の意見を踏まえ、説明文及び地形測量実施時の降水量のグラフを追加した。
8.9-118 ~122	8.9-119 ~123	8.9.2 予測 (1)工事の実施(造成工事の実施)による影響	各項目の説明文	左記事項についてわかりやすくするため修正及び追加した。
8.9-118	8.9-119	表 8.9-48	表の構成	想定される影響の内容を加えるとともに端的にわかりやすくするため修正した。
8.9-119	8.9-120	図 8.9-17	影響予測の流れ図	図番号の変更(図 8.9-18)及び内容についてわかりやすくするため修正した。
8.9-123 ~129	8.9-124 ~130	表 8.9-50(1)~(7)	予測結果	予測結果について簡潔にわかりやすい表現に修正し、それに伴い、注釈を追加した。 審査会委員の意見を踏まえ、魚類のヒモハゼ、エドハゼ、マサゴハゼの記述を見直した。
8.9-130 ~134	8.9-131 ~135	8.9.2 予測 (2)存在・供用(造成地・施設の存在)による影響	各項目の説明文	左記事項についてわかりやすくするため修正及び追加した。
8.9-130	8.9-131	表 8.9-51,52	表の構成	2つの表を統合して、影響の種類・内容を整理し、端的にわかりやすくするため修正、表番号を変更(表 8.9-51)した。
8.9-131	8.9-132	図 8.9-18	影響予測の流れ図	図番号の変更(図 8.9-19)及び内容についてわかりやすくするため修正した。

表 14-1(4) 準備書に記載した事項から変更した内容

準備書の頁	評価書の頁	変更箇所等	変更事項等	変更の内容等
—	8.9-132	6)予測条件	項目の追加	左記事項についてわかりやすくするため追加し、その説明を追記した。
8.9-131	8.9-132	6)予測結果 a)存在・供用(造成地・施設 の存在)による影響が 予測される保全すべき種 及び保全すべき生息地	7)予測結果 a)保全すべき種及 び注目すべき生息 地への影響の有無	項目の見出しについてわかりやすくするため変更した。
8.9-132, 133	8.9-133, 134	表 8.9-53(1),(2)	表題の変更及び内 容	表題を「～生息地への影響の有無」に変更し、表内の記述を端的にわかりやすくするため修正、表番号を変更(表 8.9-52(1),(2))した。
8.9-135 ～136	8.9-136 ～137	表 8.9-54(1),(2)	注釈	左記事項についてわかりやすくするため追記し、表番号を変更(表 8.9-53(1),(2))した。
8.9-137 ～144	8.9-138 ～147	8.9.3 環境保全措置 (1)環境保全措置の検討 (2)環境保全措置の実施 結果 (3)環境保全措置検討結 果の検証及び整理	項目の追加	わかりやすくするため、 (1)工事の実施(造成工事の実施)による影響 (2)存在・供用(造成地・施設の存在)による 影響 に分けて整理し記載した。
8.9-138	8.9-138, 139, 142	表 8.9-55(1)	表の内容の分割、 追加	上記変更内容に伴い、表の内容を分割し(表 8.9-54(2)、表 8.9-56(1))、不足分(濁水の抑制の検討経緯等)を追加(表 8.9-54(1))した。
8.9-143	8.9-140, 146	表 8.9-58(1)	表の内容の分割、 追加	上記変更内容に伴い、表の内容を分割し(表 8.9-55(2)、表 8.9-59(1))、不足分(濁水対策)を追加(表 8.9-55(1))した。
8.9-145	8.9-148	8.9.4 事後調査 (1)事後調査の必要性	説明文	わかりやすくするため、不足内容を追加した。
8.9-145	8.9-148	表 8.9-59	調査項目	環境保全措置対象種と合わせるため修正した。
8.10-1 ～46	8.10-1 ～47	8.10 植物 全般	コドラート調査もしくは 群落組成調査の 記載	図書全体で語句を統一するためコドラート調査(群落組成調査)に記載を変更した。
8.10-18	8.10-18	表 8.10-9	表題	表の内容に合わせた表題に修正した。
8.10-26	8.10-26	③重要な植物群落	本文	図 8.10-9 は保全すべき植物群落の確認位置図であるので、記載を削除した。
8.10-27	8.10-27	④保全すべき植物群落	本文	わかりやすくするため、保全すべき植物群落の確認位置図の記載を追加した。
8.10-30 ～35	8.10-30 ～35	8.10.2 予測 (1)工事の実施(造成工事 の実施)による影響	各項目の説明文	わかりやすくするため修正及び追加した。
8.10-30	8.10-30	表 8.10-11	表の構成	想定される影響の内容を加えるとともに端的にわかりやすくするため修正した。
8.10-31	8.10-31	図 8.10-10	影響予測の流れ図	内容についてわかりやすくするため修正した。
8.10-33	8.10-33	表 8.10-13(1)～(3)	表題、注釈	左記事項についてわかりやすくするため修正、追記した。
8.10-36 ～38	8.10-36 ～38	8.10.2 予測 (2)存在・供用(造成地・施 設の存在)による影響	各項目の説明文	わかりやすくするため修正及び追加した。

表 14-1 (5) 準備書に記載した事項から変更した内容

準備書の頁	評価書の頁	変更箇所等	変更事項等	変更の内容等
8.10-36	8.10-36	表 8.10-14	表の構成	想定される影響の内容を加えるとともに端的にわかりやすくするため修正した。
8.10-37	8.10-37	図 8.10-11	影響予測の流れ図	内容についてわかりやすくするため修正した。
—	8.10-37	6)予測条件	項目の追加	わかりやすくするため、左記事項について追加し、その説明を追記した。
8.10-37	8.10-37	6)予測結果 a)造成地・施設の有無による影響が予測される保全すべき種及び群落	7)予測結果 a)保全すべき種及び注目すべき生息地への影響の有無	項目の見出しについてわかりやすくするため変更した。
8.10-38	8.10-38	6)予測結果 b)保全すべき種及び群落への影響の程度	本文	わかりやすくするため追加した。
8.10-38	8.10-38	表 8.10-13(1)~(3)	表題、注釈	左記事項についてわかりやすくするため修正、追記した。
8.10-39 ~44	8.10-39 ~45	8.10.3 環境保全措置 (1)環境保全措置の検討 (2)環境保全措置の検討結果 (3)環境保全措置検討結果の検証及び整理	項目の追加	わかりやすくするため、(1)工事の実施(造成工事の実施)による影響 (2)存在・供用(造成地・施設の有無)による影響 に分けて整理し記載した。 「環境保全措置の検討結果」は「環境保全措置の実施結果」に修正した。
8.10-39	8.10-42	表 8.10-17	表の挿入位置	上記変更内容に伴い、表の挿入位置を変更した。 表の番号を以下のとおり変更した。 ・表 8.10-17→表 8.10-20
8.10-40	8.10-39, 41, 42	表 8.10-18(1)~(3)	表の挿入位置	上記変更内容に伴い、表の挿入位置を変更した。 表の番号を以下のとおり変更した。 ・表 8.10-18(1)→表 8.10-17 ・表 8.10-18(2)→表 8.10-19(1) ・表 8.10-18(3)→表 8.10-19(2)
8.10-42	8.10-43	表 8.10-19	表の内容	上記変更内容に伴い、環境保全措を環境保全措置の経緯等に変更し、その内容も変更した。 表の番号を以下のとおり変更した。 ・表 8.10-19→表 8.10-21
8.10-43, 44	8.10-40, 44, 45	表 8.10-20(1),(2)	表の内容	整理する項目を変更し、多々良川河畔に生育する保全すべき種及び群落の整理表を追加(表 8.10-18)した。 表の番号を以下のとおり変更した。 ・表 8.10-20(1),(2)→表 8.10-22(1),(2)
8.10-45	8.10-46	8.10.4 事後調査 (1)事後踏査の必要性	本文	わかりやすくするため不足内容を追加した。
8.10-45	8.10-46	表 8.10-232	調査内容	わかりやすくするため内容を修正した。
8.10-46	8.10-47	8.10.5 評価 (2)評価の結果 1)回避・低減に係る評価	本文	わかりやすくするため文章を修正した。

表 14-1(6) 準備書に記載した事項から変更した内容

準備書の頁	評価書の頁	変更箇所等	変更事項等	変更の内容等
8.11-20 ~24	8.11-20 ~24	8.10.2 予測 (1)工事の実施(造成工事の実施)による影響	各項目の説明文	わかりやすくするため修正及び追加した。
8.11-20	8.11-20	表 8.11-11,12	表の構成	2つの表を統合して、影響の種類・内容を整理し、わかりやすくするため修正、表番号を変更(表 8.11-11)した。
8.11-21	8.11-21	図 8.11-8	影響予測の流れ図	内容についてわかりやすくするため修正した。
8.11-22	8.11-22	7)予測結果 a)地域を特徴づける生態系への影響の程度	項目の変更	地域を特徴づける生態系の注目種等への影響の有無に変更した。
8.11-22	8.11-22	—	表の追加	造成工事の実施による地域を特徴づける生態系の注目種等への影響の有無を整理した表を追加した。
8.11-22	8.11-23	表 8.11-13	表題、注釈	左記事項についてわかりやすくするため修正、追記した。
8.11-23, 24	8.11-24	表 8.11-14(1),(2)	表題、注釈、内容	左記事項についてわかりやすくするため修正、追記、削除した。
8.11-25 ~27	8.11-25 ~28	(2)存在・供用(造成地の存在)による影響	項目及び各項目の説明文	項目は施設を追記、説明文はわかりやすくするため修正及び追加した。
8.11-25	8.11-25	表 8.11-15	表の構成	想定される影響の内容を加えるとともに端的にわかりやすくするため修正した。
8.11-26	8.11-26	図 8.11-9	影響予測の流れ図	内容についてわかりやすくするため修正した。
—	8.11-26	6)予測条件	項目の追加	不足していたため左記事項について追加し、その説明を追記した。
8.11-27	8.11-27	7)予測結果 a)地域を特徴づける生態系への影響の程度	項目の変更	地域を特徴づける生態系の注目種等への影響の有無に変更した。
—	8.11-27	—	表の追加	造成値・施設の存在による地域を特徴づける生態系の注目種等への影響の有無を整理した表 8.11-16 を追加した。
8.11-27	8.11-28	表 8.11-16	表題、注釈	左記事項についてわかりやすくするため修正、追記し、表番号を変更(表 8.11-17)した。
8.11-28 ~34	8.11-29 ~38	8.11.3 環境保全措置 (1)環境保全措置の検討 (2)環境保全措置の検討結果 (3)環境保全措置検討結果の検証及び整理	項目の追加	わかりやすくするため、(1)工事の実施(造成工事の実施)による影響 (2)存在・供用(造成地・施設の存在)による影響 に分けて整理し記載した。 「(2)環境保全措置の検討結果」は削除した。
8.11-28	8.1-29	表 8.11-17(1)	表の内容	わかりやすくするため、整理項目の追加と検討経緯等の説明文を追加・修正した。
8.11-29	8.11-34	図 8.11-10	図の挿入位置	上記変更内容に伴い、図の挿入位置を変更した。
8.11-30	8.11-30, 35	表 8.11-17(2)	表の内容の分割、追加	上記変更内容に伴い、表の内容を分割(表 8.11-18(2)、表 8.11-20(1))した。

表 14-1(7) 準備書に記載した事項から変更した内容

準備書の頁	評価書の頁	変更箇所等	変更事項等	変更の内容等
—	8.11-30	—	表の追加	わかりやすくするため、表 8.11-18(3)としてクロマツ林の工事中の大気質対策の検討内容を整理し追加した。
8.11-31	8.11-36	表 8.11-17(3)、表 8.11-18	表の挿入位置	わかりやすくするため、表 8.11-20(2)、表 8.11-21 に変更し、(2)存在・供用(造成地・施設の存在)による影響の項目に挿入した。
8.11-32	—	表 8.11-19	表の削除	内容が他の表の内容と重複するため削除した。
8.11-33	8.11-31	表 8.11-20(1)	表の内容の分割、追加	工事の実施と存在供用による影響に分けて整理したため、表の内容を分割(表 8.11-19(2)、表 8.11-22(1))した。
—	8.11-31	—	表の追加	わかりやすくするため、表 8.11-19(1)として河川汽水域生態系の注目種等の工事中の濁水対策の検討結果の検証を整理し追加した。
—	8.11-32	—	表の追加	わかりやすくするため、表 8.11-19(3)としてクロマツ林の工事中の大気質対策の検討結果の検証を整理し追加した。
8.11-34	8.11-38	表 8.11-20(2)	表の挿入位置	わかりやすくするため、表 8.11-22(2)に変更し、(2)存在・供用(造成地・施設の存在)による影響の項目に挿入した。
8.11-35	8.11-39	8.11.4 事後調査 (1)事後調査の必要性	本文	わかりやすくするため、不足内容を追加した。
8.11-35	8.11-39	表 8.11-21	調査項目、調査内容	事後調査の項目を追加し、その内容について記載した。
8.12-16	8.12-16	表 8.12-12	公園面積の変更	事業計画の熟度が高まり、土地利用計画を見直し、面積精査により貝塚公園を約 3.3ha→約 3.4ha に街区公園を約 0.7ha→約 0.6ha に変更した。
8.13-6	8.13-6	表 8.13-6	面積の変更	データを最新のものに変更した。また、貝塚公園については貝塚公園西口ロータリー部を除く面積とした。
8.13-21	8.13-21	表 8.13-15	公園面積の変更	表 8.13-6 での面積の変更に伴い、公園面積を変更した。
8.13-23	8.13-23	8.13.2 予測 (1)存在・供用(造成地・施設の存在)による影響 6)予測結果 d)貝塚公園	本文中	事業計画の熟度が高まり、土地利用計画を見直し、面積精査により貝塚公園面積が変更となったため、以下のとおり本文を変更した。 「公園面積は 3.9ha から 3.4ha となり、0.5ha (12.8%)の減少となるが」
8.13-26	8.13.26	8.13.5 評価 (1)存在・供用(造成地・施設の存在)による影響 2)評価の結果 a)回避・低減に係る評価	本文中	事業計画の熟度が高まり、土地利用計画を見直し、面積精査により貝塚公園面積が変更となったため 17.5%減少→12.8%減少と変更した。
8.14-6	8.14-6	4) 予測方法及び予測条件 a) 廃棄物の種類別の量、処理・処分方法	金属くず(鉄筋)の取扱い	売払い処分することから、廃棄物発生量に含めないことを記載した。

表 14-1(8) 準備書に記載した事項から変更した内容

準備書の頁	評価書の頁	変更箇所等	変更事項等	変更の内容等
8.14-7	8.14-7	b) 廃棄物の減量化、リサイクル等の種類、量、方法等	廃棄物の再資源化率	審査会委員の意見を踏まえ、九州大学旧工学部2号館の解体工事における再資源化の実績値に変更した。
8.14-8	8.14-8	5) 予測結果	廃棄物発生量及び再資源化量	審査会委員の意見を踏まえ、九州大学旧工学部2号館の廃棄物処分量実績値をベースに算出した予測結果に変更した。
8.14-13	8.14-8	2) 評価の結果 b) 基準や目標との整合性に係る評価	廃棄物発生量及び再資源化量	審査会委員の意見を踏まえ、九州大学旧工学部2号館の廃棄物処分量実績値をベースに算出した予測結果に変更した。
8.15-3	8.15-3	4) 予測方法及び予測条件	残土発生について	市長意見を踏まえ、地中埋設物の撤去に関する工事実績を再度検証した結果、残土は発生しない旨を記載した。
8.15-4	8.15-3	5) 予測結果	切土(掘削土)の事業実施区域内での盛土利用について	市長意見を踏まえ、事業実施区域内の表層地質の状況及び土地造成としての発生土利用基準を満たす旨を追記した。
8.15-4	8.15-3	表 8.15-2	残土発生量	市長意見を踏まえ、残土発生量(事業実施区域外への搬出土量)の欄等を追加した。
8.15-6	8.15-5	8.15.4 事後調査	採用した予測手法	市長意見を踏まえ、地中埋設物の撤去に関する工事実績を再度検証した結果、残土は発生しないことから、残土発生量実績値を削除した。
8.15-7	8.15-6	2) 評価の結果 a) 回避・低減に係る評価 b) 基準や目標との整合性に係る評価	残土発生量	市長意見を踏まえ、再度予測した結果から、事業実施区域外へ搬出する残土は発生しないことに変更した。
8.16-14	8.16-14	表 8.16-19	存在・供用(施設関連車両の走行)による影響に対する環境保全措置の実施内容	環境保全措置の実施内容を図書全体で統一するため、記載内容を修正した。
8.16-16	8.16-16	(1) 工事の実施(造成工事の実施)による影響 2) 評価の結果 a) 回避・低減に係る評価	環境保全措置の説明	わかりやすくするため文章を追加した。
9.1-1 ~ 4	9.1-1 ~ 4	第9章 環境保全措置の検討	記載内容の修正	第8章の記載内容の修正に伴い修正した。
10.1-1 ~ 14	10.1-1 ~ 14	第10章 環境影響の総合的な評価	記載内容の追加、修正	第8章の記載内容の追加、修正に伴い追加、修正した。
11.1-1 ~ 11.2-4	11.1-1 ~ 11.2-5	第11章 事後調査計画	記載内容の追加、修正	第8章の記載内容の追加、修正に伴い追加、修正した。